

## I 組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7)

No.	共通評価項目		
	カテゴリー1		
1	リーダーシップと意思決定	サブカテゴリー1(1-1) 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		
	評点(○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
	評点(○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
	評点(○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当
	カテゴリー1の講評		
	理論に基づく信念とビジョンを研修等の機会を利用しながら発信している 保育理念、保育方針、保育目標は、ホームページ・パンフレットにそれぞれ掲載されており、インクルーシブ・家庭的・地域に根付いた・少人数による細やかな援助を実践するための起点が記されている。また、これらは長年培ってきた理論に基づいており、職員に対しては、往還型研修・会議・園長自らの指導計画作成など各機会を利用し、信念ともいいうべきビジョンへの理解が深まるよう取り組んでいる。		
	業務分掌等の明示により職員の役割・役職を明示している 組織図、業務分掌、災害時体制が作成されており、職員の役職・役割が明示されている。年齢ごとのクラス編成と担当職員が配置されているものの、チーム意識を持ち、全職員ですべての子どもを援助していく方針が貫かれている。SWOT分析により、強み、課題、機会、リスクを抽出しており、分析を活用しながらエビデンスに基づく運営の実践を目標としている。		
	「気づきこそ教科書である」をモットーにボトムアップを意識した運営がなされている 利用者に対しては配信システムを活用し、タイムリーに情報提供・依頼・お知らせなどがなされている。また、職員に対しては昼礼を中心に情報を共有できる仕組みが整備されている。上長からの情報伝達だけでなく、職員からの意見や提案を大切にしており、「気づきこそ教科書である」をモットーにボトムアップを意識した運営がなされている。		

	カテゴリー2		
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー1(2-1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6／6
	評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		
	評点(○○○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
	サブカテゴリー2(2-2)		
	実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		
	評点(○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		
	評点(○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
	●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
	カテゴリー2の講評		
	調和していく姿勢をもって地域に根差した運営と社会資源の活用が実践されている 行事後には保護者にアンケートを実施し、意向の把握と次年度へ反映し改善につなげるよう取り組んでいる。また市内小規模事業所のネットワークにも参加し、意見の収集や交流にあたっている。自園だけで完結し、小さくまとまるのではなく、社会の求めに応じて調和していく姿勢をもって地域に根差した運営と社会資源の活用が実践されている。		
	事業計画の策定など具体的な施策を文書化している 年度の事業計画が策定されており、環境整備、行事、職員研修など各項目について明示されている。働き方改革について言及しており、ICTの活用による業務の効率化を謳っている。退職金制度への加入など福利厚生の充実も図っている。また、今後はエビデンスに基づく運営実施のため、専門的知識の習得に励んでおり、税務の専門家のアドバイスを取り入れながら戦略的経営に臨む意向をもっている。		
	基盤となる計画の浸透により職員が知識を吸収し考える援助が実践されている 年度の保育事業計画をはじめ、全体的な計画、年・月・週の指導計画が策定されており、計画的な保育の実践に努めている。特に全体的な計画、年間・月間指導計画については園長自ら策定しており、職員が知識を吸収し考える援助につなげられるよう取組んでいる。これらを反映して担当職員により週間指導計画が策定されており、日々の保育が実践されている。		

	カテゴリー3		
3 経営における社会的責任			
	サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2/2	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる			
評点(○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当	
サブカテゴリー2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4	
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			
評点(○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当	
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			
評点(○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当	
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当	
サブカテゴリー3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5	
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる			
評点(○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当	
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている			
評点(○○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当	
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内の共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当	

カテゴリー3の講評	
	<p>職員が相互に留意しあう関係性が醸成されるよう組織の形成と運営にあたっている</p> <p>就業規則等諸規程が定められており、個人情報等各種法令の遵守を求めている。また、倫理綱領や保育所保育指針の確認により保育士としてあるべき姿を振り返るよう努めている。虐待防止の研修実施などにより保育の意味を考え、職員が相互に留意し合う関係性が醸成されるよう組織の形成と運営にあたっている。</p>
	<p>いつでも要望・相談できる体制整備を明示している</p> <p>園のしおり(重要事項説明書)には苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員、行政窓口の各連絡先が記載されており、いつでも要望・相談できる体制整備を明示している。また、同書にはあわせて、緊急時、非常災害時の連絡先も明記されている。苦情受付書式も設定されており、傾聴と確認をもって保護者の意向把握に努めている。</p>
	<p>実習の受け入れなど、次代を担う若者への育成協力がなされている</p> <p>関係教育機関から実習の受け入れが多数なされており、次代を担う若者への育成協力がなされている。また連携園とは災害時協力、職員研修、園庭利用などで協力があり、地域との協調のもと保育が実践されている。区内小規模保育所の園長とは会合を通して交流しており、気軽に相談できる関係性が築かれている。</p>

	カテゴリー4																				
4	リスクマネジメント																				
	サブカテゴリー1(4-1)																				
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5																		
	評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる																				
	評点(○○○○○)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● あり ○ なし</td><td>1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td><td>2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td><td>3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td><td>4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td><td>5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		● あり ○ なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当	● あり ○ なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当	● あり ○ なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当	● あり ○ なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	● あり ○ なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																				
● あり ○ なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当																			
● あり ○ なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当																			
● あり ○ なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当																			
● あり ○ なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																			
● あり ○ なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																			
	サブカテゴリー2(4-2)																				
	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4／4																		
	評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている																				
	評点(○○○○)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● あり ○ なし</td><td>1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td><td>2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td><td>3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td><td>4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		● あり ○ なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	● あり ○ なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当	● あり ○ なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当	● あり ○ なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目																				
● あり ○ なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当																			
● あり ○ なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当																			
● あり ○ なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当																			
● あり ○ なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当																			
	カテゴリー4の講評																				
	<p>ねらいをもった各種想定の避難訓練が毎月実施されている</p> <p>毎月の避難訓練は明確なねらいをもって計画が策定されており、各種想定や引き取り訓練などが実施され、確認がなされている。また、指導計画にも盛り込み、園全体で意識を共有しながら取り組んでいる。備蓄はアレルギー対応のものを整備しており、万一の事態に備え、連携園にも備えるなど対応がなされている。</p> <p>水害時対応について複数の想定と対応がなされている</p> <p>被災時事業継続計画が策定されており、各種マニュアル同様、事務室と保育現場の双方に設置されている。特に水害を警戒しており、連携園までの避難により応急対応を可能としている。また、自園屋上への垂直避難訓練も予定されており、職員・子どもたち双方のリスクへの習熟に取り組んでいる。</p> <p>マニュアル策定、書庫での管理など情報の保守と管理に取り組んでいる</p> <p>個人情報保護マニュアルを策定し、情報の保守と管理に取り組んでいる。家庭および子どもの大切な情報を預かる立場として留意に努め、書庫での管理がなされている。園のしおり(重要事項説明書)においても秘密保持として項が設けられており、職員の守秘と退職後も同様であることが謳われている。</p>																				

	カテゴリー5	
5	職員と組織の能力向上	
	サブカテゴリー1(5-1)	
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 10／12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		
評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		
評点(●●)		
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
○あり ●なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と待遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3／3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

	<p>カテゴリー5の講評</p> <p><b>ゆとりある職員配置により家庭的かつきめこまやかな保育を可能としている。</b></p> <p>保育士、看護師、栄養士など専門資格保持者が多数在籍しており、特に看護師については常勤・非常勤あわせて3名の配属をもって子どもたちの安全確保への体制が整備されている。15名定員と小規模な園でありながら、責任をもった、ゆとりある職員配置により家庭的かつきめこまやかな保育を可能としている。</p> <p><b>概念がわかったうえで保育を実践する人材の育成に取り組んでいる</b></p> <p>キャリアアップ研修をはじめ、多様な外部研修への参加がなされている。職員が保育理論を学ぶことができる環境であり、やりがいと自信をもつた職員であるよう指導にあたっている。「気づきこそ教科書である」をモットーに機器や機械に頼らない業務を実践しており、概念がわかったうえで保育を実践する人材の育成に取り組んでいる。</p> <p><b>福利厚生の充実、労働条件の向上に取り組んでいる</b></p> <p>退職金制度への加入がはじめられており、福利厚生の充実に取り組んでいる。また、ゆとりある職員体制を活かしながら、休憩時間の確保、連続した公休の設定など労働条件の向上が実現している。保育業界は、社会から求められることの水準が高くなっている、園と職員へのプレッシャーは日を追うごとに増している。職員が補い合いながら対応にあたっている。</p>
--	--

	カテゴリー7
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動
	サブカテゴリー1(7-1)
	事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている
	<p><b>評価項目1</b>          事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p> <p><b>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</b></p> <p>子どもや家庭の多様化、インクルーシブな保育ができる環境の形成を背景に環境の整備を目標に設定している。保育室・給食室の整備には、業者選定からこだわり、課題を抽出し、要望を託している。また、そのほかに園パンフレットの刷新、職員の休憩時間の確保などを実施し、今年度も引き続き取り組んでいる。保育室内の環境向上にもあたっており、子どもたちの動線の確認などがなされている。</p>
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていないかった(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
子どもたちの成長にとって大切なことは、思考力、実行力、人と協力する力、知的好奇心、コミュニケーション能力、困難に立ち向かう力をかけ、成長の基礎をつかさどる環境形成に努めている。保育室内は安全への配慮と同時に十分な玩具と絵本が揃えられ、子どもたちの成長に必要な資源が整備されている。少人数保育だからこそできるきめ細やかさをもって取り組んでおり、毎日の散歩、園内の畠での土いじりや収穫など戸外活動にて健やかな成長を援助している。	

<p><b>評価項目2</b>  <b>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</b></p>	
<p><b>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</b></p> <p>職員の資質向上のための、研修計画を定めている。虐待防止、人権への尊重をはじめとしたテーマを設定し、特に人権に関しては、隔月ごとに定例研修を実施している。また、キャリアアップ研修など外部研修への参加は、往還研修として水平展開とPDCAサイクルへの組み込みにより職員研鑽に結びつけている。今年度も引き続き公的研修への参加、インクルーシブ保育の学びなど多様な学びの機会を職員に提供している。</p>	
<p><b>目標の設定と取り組み</b></p> <p><b>取り組みの検証</b></p> <p><b>検証結果の反映</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p><b>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</b></p> <p>キャリアアップ研修をはじめ、多様な外部研修への参加がなされている。職員が保育理論を学ぶことができる環境であり、やりがいと自信をもつた職員であるよう指導にあたっている。「気づきこそ教科書である」をモットーに業務を実践しており、概念がわかったうえで保育を実践する人材の育成に取り組んでいる。また、就業規則等諸規程が定められており、倫理綱領や保育所保育指針の確認により保育士としてるべき姿を振り返るよう努めている。虐待防止の研修実施などにより保育の意味を考え、職員が相互に留意し合う関係性が醸成されるよう組織の形成と運営にあたっている。</p>	